

2024年度 第8回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2024年11月28日（木）

場 所 豊岡市役所竹野庁舎 1階大会議室

所 在 地 豊岡市竹野町竹野1585-1

開会時間 午後2時00分

閉会時間 午後3時15分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	飯田 正巳
委員	向井 美紀
委員	升田 敏行
委員	鈴木 千佳

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	正木 一郎
	教育総務課長	木之瀬 晋弥
	教育総務課参事兼学校再編・施設整備室長	野崎 律男
	学校教育課長	寺坂 浩司
	幼児育成課長	向原 芳江
	社会教育課長	旭 和則
	教育総務課参事兼課長補佐	栞垣 敦子
	教育総務課教育総務係長	足立 美由紀

事務局以外	子ども支援課子ども支援センター所長	鳥居 保
	文化・スポーツ振興課文化芸術係長	齋賀 真衣

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

飯田 正巳 委員

第2 前回の会議録の承認

2024年10月22日（火）開催 第7回定例会

2024年11月1日（金）開催 臨時会

第3 教育長の報告

第4 観光文化部の報告

1 文化・スポーツ振興課

- (1) 第75回豊岡市美術展の開催結果について

第5 議事

- 議案第24号 豊岡市立小学校及び中学校の設置に関する条例及び豊岡市立学校施設の
使用料の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第25号 令和6年度12月補正（第6号）教育関係予算案に関する意見について
- 議案第26号 豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について
- 議案第27号 豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について
- 報告第17号 兵庫県豊岡市立田鶴野小学校長之印の公印新調について
- 報告第18号 寄附物件の受納について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) とよおか教育プラン2024年度実践計画中間外部検証結果について
- (2) 第5次とよおか教育プランの策定進捗報告について
- (3) 竹野地域小中一貫校開設準備委員会の中間報告について

2 学校教育課

- (1) 生徒指導について

第7 こども未来部の報告

1 こども支援課

- (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

第8 委員活動報告

第9 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後2時00分

(教育長)

ただ今から、2024年度第8回教育委員会会議を開会いたします。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告します。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は飯田委員にお願いしたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。10月22日に開催しました第7回教育委員会会議、11月1日に開催しました臨時教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声があるため、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回10月22日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

1つ目は、22日に行われた全国のB&G教育長会議の件です。昨年もそうでしたが、部活動の地域移行がテーマで会議が進められました。豊岡市も昨年から部活動の在り方検討委員会を立ち上げ、昨年の結論としては、部活動指導員の数を増やすということ。いきなりには地域移行はできないため、地域連携で部活動指導員を増やそうということになりました。立ち上げの時に、部活動指導員は市内で5人いましたが、11月現在では述べ19人の方がいます。指導員を確保するという点では、まずまず上手くいっていると思いますが、兵庫県教育委員会は、地域移行と地域連携のハイブリッド型でいこうとしています。本市が進めている地域連携に加えて地域移行とは、受け皿を作り、最終的に民間にお願いし、学校から手放すことです。

今回の全国でのB&G教育長会議で特徴的だったのは次のような点です。部活動について意識調査を3万人の生徒にした結果、部活動に何を求めるかということ、「より勝利を目指す活動をする」が約31%、「友だちと気軽に楽しむ」は35%で、勝利よりも気軽に活動することを選択している子どもが多かったという結果でした。同じく豊岡市もリーダー研修会を夏に行い、それに先立ち市内の全校中学生2,021人にアンケートをしました。部活動参加の目的の1位は、やはり「仲間と楽しく」で72%でした。「体力や技術向上」が65%。3つ目に、「大会やコンクールで良い成績を収める」があり、全国も豊岡の子どもたちも、部活動を仲間と楽しくやるのが一番の目的だということです。ここに立ち返っての実践発表でした。中学校の先生が中心となり、体力向上や部活動で良い成績を収めることもそうですが、生徒指導も含めて、これまでの部活動と同じあり方では地域に移行しても無理だとはっきりわかりました。そのような部活動の考え方ではなく、子どもたちはより勝利を目指すよりも、より気軽に楽しむことを選んでいるため、より楽しめる部活を持っていくという実践発表でした。

例えば、佐渡市の発表は、平日は普通の部活をしますが、土日は2つの部活動の形態をとるものでした。1つは、学校の部活動でやっていることを延長として行うスキルアップ型。2つ目は、エンジョイ型と言い、楽しみながらスポーツや芸術の魅力を感じるような活動をする。ここが、ものすごく大きな点です。マルチアクティビティとよく呼んでいますが、これを部活として位置づけ、教育委員会や学校の手から離れ、まるっきり地域が行う。市役所で言うと、文化・スポーツ振興課が中心となりマネジメントする。佐渡であれば、文科系は書道、囲碁、将棋、プログラミング、漫画、英会話、三味線をする。スポーツ関係で言えば、ボルダリング、硬式テニス、体操。こんなことを休日にします。今年は月に2回、来年からは月に3回程度、土日に行うとしています。このような移行の仕方です。これ以外の自治体でも、子どもたちが学校ではできないようなことを部活動でやっていこうとするような地域移行が増え始めています。このようなことを参考にしながら、従来の部活動の考え方を転換しないと、文科省が言っている部活動の地域移行は難しいです。

2つ目は、社会科の授業のことです。東井義雄先生のごことが小学校4年生の社会科の教科書に載ったことは以前お話しした通りです。ちょうど今がその教材で授業をする時期となっています。私は、中筋小学校が社会科の研究発表大会として10月25日に行った授業と、昨日東井先生の地元の合橋小学校の授業を見てきました。社会科で扱うので「東井先生は素晴らしい人だった」というだけでの授業ではないわけです。社会の目的とは、社会的な見方・考え方を働かせることであると文部科学省は言っています。社会的な見方と考え方は3つあり、1つは空間の見方と考え方です。東井先生がなぜ但東町でこのような教育実践をされたのか、どういう立場でされたのかという空間。2つ目は時間です。『村を育てる学力』は昭和32年に書かれたため、東井先生がこういうことを行ったという昭和32年の時代と今の時代を比べる。3つ目は関係です。そのことが今の豊岡市の子どもたちや豊岡市の先生たちや豊岡市民に対してどのような影響を与えているかということです。この3つで授業をすることが、社会科としての東井先生の教材を扱うということです。それぞれのアプローチがあるため詳しいことは述べませんが、確実に分かったことは、東井先生のことを小学校4年生はとても身近に感じていたということです。ワークシートを作り東井先生の顔を描き、東井先生はどのような人だったということを書いて学習をしていました。教科書は大きな影響を与えるなと思いました。学習している子どもたちは東井先生のごことは知的には理解できていることが分かりました。しかし、自分がどのような影響を受けるのかという教材との関係性については今後の大きな課題ではありますが、それにしても但馬の子どもたちがみんなこの学習していることを嬉しく思います。今年になって但馬各地から東井記念館にもたくさん子どもたちや先生たちが来ているようです。

【日程 第4 観光文化部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第4 観光文化部の報告に移ります。文化・スポーツ振興課 (1) 第75回豊岡市美術展の開催結果について、文化・スポーツ振興課文化芸術係長の説明をお願いします。

1 文化・スポーツ振興課

(1) 第75回豊岡市美術展の開催結果について

《文化・スポーツ振興課文化芸術係長の説明概要》

第75回豊岡市美術展の開催結果について、資料に基づき説明する。

会期は2024年10月31日（木）から11月4日（月）の5日間で開催した。

出品状況について、出品数2,521点、入賞数は1,940点、展示数は1,309点。部門ごとの出品数は、特別招待の部は7点、招待の部は42点、一般の部は266点。一般の部は前年に比べ17点増加した。高校の部は103点で、前年に比べ11点増加した。児童・生徒の部は2,103点で、前年に比べ29点減少した。学校の統廃合や児童数の減少によるところが大きいと考える。

審査および予備審査は、児童・生徒の部の図画・習字を10月10日・11日に行い、各部門の本審査を10月20日から10月23日にかけて行った。

招待作家等は、今回、特別招待作家は彫刻・工芸の部で1名資格を取得した。招待作家は絵画部門で2名が資格を取得した。

協賛展示等は、特別支援学級児童生徒作品85点を展示し、県の芸術文化を盛り上げる「アートde元気ネットワークひょうご」に加盟しているため、このコーナーを展示した。

美術講座は、本審査後に、審査員の先生から講評や作品の説明をしていただいた。

市展来場者は、5日間で8,042人と例年並みであった。表彰式は、11月3日（日・祝）の午前中に児童・生徒の部、午後に招待、一般、高校の部で開催した。

応援者数は、市内の文化部のある各高校にボランティアの協力依頼を行い、今年は総合高校12名、近大附属豊岡高校2名のボランティアにご協力いただいた。

バーチャル美術館は、市ホームページの市展コーナーで、招待優賞、市長賞、推薦、特別招待作家の作品を掲載する。今日か明日には更新する予定である。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（委員）

なし

【日程 第5 議事】

（教育長）

続きまして、日程第5 議事に移ります。議案第24号と議案第25号は、この後議会に議案として提出され、議決を経るべき事項のため、豊岡市教育委員会会議規則第17条により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

（委員）

異議なし

（教育長）

承認を得たため、議案第24号と議案第25号は非公開といたします。本日は、傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。

○ 議案第24号 豊岡市立小学校及び中学校の設置に関する条例及び豊岡市立学校施設の使用料

の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定について

《 豊岡市立小学校及び中学校の設置に関する条例及び豊岡市立学校施設の使用料の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定について、教育総務課参事が説明し、審議の結果、異議なしと承認された。 》

○ 議案第25号 令和6年度12月補正（第6号）教育関係予算案に関する意見について

《 令和6年度12月補正 教育関係（第6号）予算案に関する意見について、教育総務課長、学校教育課長、幼児育成課長、社会教育課長が説明し、審議の結果、異議なしと承認された。 》

（教育長）

以上で非公開議案は終了しました。本日は、傍聴人がいないため、このまま会議を進めます。

（教育長）

続きまして、議案第26号 豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第26号 豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について、資料に基づき説明する。

先月の定例教育会議でご意見をいただいた。豊岡市奨学金の対象範囲を拡大し、専門学校の学生も豊岡市奨学金の対象とするものである。専門学校の学生の中でも、文部科学大臣が指定する修了者が高度専門士または専門士と称することができる課程、また保健師助産師看護師法に規定する保健師を養成する課程、また助産師を養成する課程の学生に対してとしている。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（委員）

なし

（教育長）

それでは、豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

（委員）

異議なし

（教育長）

それでは、豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について、原案のとおり可決します。

(教育長)

続きまして、議案第 27 号 豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第27号 豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について、資料に基づき説明する。豊岡市奨学金と同様に、豊岡市遺児奨学金も専門学校の学生を対象を広げる内容である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について、原案のとおり可決します。

(教育長)

続きまして、議事（報告）に移ります。報告第 17 号 兵庫県豊岡市立田鶴野小学校長之印の公印新調について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第17号 兵庫県豊岡市立田鶴野小学校長之印の公印新調について

《教育総務課長の説明概要》

兵庫県豊岡市立田鶴野小学校長之印の公印新調について、資料に基づき説明する。

9月の定例教育委員会で公印規定の改正を行った田鶴野小学校長之印の新調の件である。田鶴野小学校から新調した報告があったので、印影を公示し、使用開始する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、公印の新調を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第 18 号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第18号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

今月は団体 3 件、個人 1 件の計 4 件の寄付を受納したため報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程 第 6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

続きまして、日程第 6 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) とよおか教育プラン 2024 年度実践計画中間外部検証結果について、教育総務課長の説明をお願いします。

(1) とよおか教育プラン2024年度実践計画中間外部検証結果について

《教育総務課長の説明概要》

とよおか教育プラン 2024 年度実践計画中間外部検証結果について、資料に基づき説明する。

9月に担当課検証、10月に検証委員会での検証が終わり、結果がまとまったため報告する。分量があるが、御清覧いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

9 ページの表の中で、「学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）1 日当たり 30 分以上読書をする」の項目の中に「教科書や参考書、漫画や雑誌除く」と書いているが、最近漫画も教養のある漫画がある。子どもたちも伝記の漫画を読んでいて、勉強になるものもある。そのため「漫画」の文字は除いてもいいのではと感じました。

また「図書の団体貸出を利用した学校園の数」や「図書館が行うおはなし会等の実施学校園数」について、2024 指標の実現状況が目標値から下がっています。その原因は何かと思われました。2024 の目標が高いのか、事情があり実現状況が低いのか教えてください。

(学校教育課長)

あくまで中間検証であります。9月12日現在であり、短期の実績であり目標値には届いていないとも考えられます。

漫画の件については、今回の実践計画は、今の第4次教育プランが今年度末までであり、来年度の第5次プランに向けて、新しい実践計画を作るため見直しを図りたい。歴史漫画等の有効な漫画を入れ込むかは、相談したうえで検討していきます。

(教育長)

全国学力・学習状況調査に、児童生徒質問紙があり連動させています。この指標は独自のものではありません。過去のものと同様のように同じものを使っています。文部科学省が「漫画や雑誌を除く」という文言を入れているため、この内容を変えずに使っています。漫画の意味も分かりますし、良い漫画も悪い漫画もありますが、指標は国と一緒にしていることを理解してほしいです。

(鈴木委員)

別冊資料2の4ページのコミュニケーション教育の推進の部分で、自己評価の理由の欄にて「コミュニケーション教育の目的や内容、成果等を学校通信・ホームページ等で紹介していくことはもちろん、意図的に発信していく」とあります。毎年、小学校と中学校でアンケートがありますが、コミュニケーション教育は子どもに必要なかという項目があり、保護者の大半はコミュニケーション教育とは演劇教育のことか、または実際に授業で行うことか分からない方が多くいます。課題にはあげられていますが、豊岡市でのコミュニケーション教育を保護者にも分かりやすく説明する必要があると思います。

(学校教育課長)

おっしゃる通りです。近々教育委員会だよりのスペースをいただくことができれば、その場を活用し啓発していきたいと思います。

(向井委員)

鈴木委員の話した内容について、竹野中学校等の参観の回覧で、コミュニケーション教育をしますと告知していますが、あまり保護者は見えておられません。あまり来られておらず、分からないと言いつつも参観していない保護者がいるのが現状です。参観日に来てもらえれば分かると思いますが、そこが難しいところだと思います。案内を出していますが、実際は来られない。2時間の授業で長時間見ないとわからないため、忙しい中とは思いますが、そこが難しいと思いました。学校側も見てくださいと言ってはいますが。

(鈴木委員)

保護者参観ができるのは学校によると思います。学校判断であり、竹野と日高は保護者参観ができると思っていたのですが、どこの学校がありましたか。

(教育長)

まだあります。

(鈴木委員)

ないところもありますか。

(学校教育課長)

そうです。コミュニケーション教育も日頃頻繁に行うのではなく、年間この時期にと決めていたり、うまくオープンスクールと絡めるといいと思いますが、特別に参観してくださいと案内を出している学校もあります。

(教育長)

先程の鈴木委員の前段の質問では、コミュニケーション教育とは教科でもできるし、学校行事でもできるため、幅広いものを指しているのか、それとも豊岡市はそれに特化し演劇的手法でコミュニケーション授業をしてコミュニケーション能力を高めようとしているのか。そのどちらかが分からないという質問ですか。

(鈴木委員)

そうです。コミュニケーション教育とはどこを捉えているのかが分かりづらい。単発的な演劇ワークショップのことを指しているのか、毎日の授業の中でコミュニケーション教育を実践されているのか、保護者には分かりづらいです。

(教育長)

コミュニケーション教育は必要だと言う保護者は圧倒的に多い。しかし、それを演劇で行うことについては疑問だという根強い意見が少しあります。ほとんどの保護者の感想は演劇的手法で行ったほうが良いと答えています。演劇を見に行く人も、噂で聞く人も、通信で見る人も含めてです。その人たちにどのように説明をしていくのか、私たちが何を聞きたいから文言を使ったのかをはっきりさせていきたいと思います。

(升田委員)

確認ですが、教育委員会だよりは全児童が家に持って帰りますか。隣保にも配りますか。

(学校教育課長)

全児童生徒に配ります。隣保にも回覧でまわします。

(升田委員)

コミュニティスクールの話も載っているため、コミュニティスクールに参加した方の手にも入

るのか。例えば委員さん等に学校から配られる予定はあるのかと思いました。

(教育長)

広い範囲で配っています。コミュニティスクールの参加者については調べます。

(升田委員)

関係のある方にきちんと渡っているといいなと思い、話しました。

(学校教育課長)

学校園以外に、図書館や子育てセンター、文化スポーツ施設にも置いています。

(教育長)

続きまして、(2) 第5次とよおか教育プランの策定進捗報告について、教育総務課長の説明をお願いします。

(2) 第5次とよおか教育プランの策定進捗報告について

《教育総務課長の説明概要》

第5次とよおか教育プランの策定進捗報告について、資料に基づき説明する。

10月に事務局で素案をまとめ、11月5日から18日までパブリックコメントを募集した。結果は1件ご意見をいただいた。同時期に教育委員の皆様にも素案を送り、意見を聴取した。

今後の予定は、12月に最終回となる第5回策定委員会を予定しており、最終の意見をいただいたうえで、事務局で内容を調整し、2月の定例教育委員会で案としてまとめ、議案として提出する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(3) 竹野地域小中一貫校開設準備委員会の中間報告について、教育総務課参事兼学校再編・施設整備室長の説明をお願いします。

(3) 竹野地域小中一貫校開設準備委員会の中間報告について

《教育総務課参事の説明概要》

竹野地域小中一貫校開設準備委員会の中間報告について、資料に基づき説明する。

竹野地域小中一貫校開設準備委員会から中間報告書が提出されたため報告する。昨年2月24日に第1回目の準備委員会を開催し、10月30日までに計7回準備委員会を開催した。今後も協議が必要な項目があるが、7回までで開設に向けた一定の方向性をとりまとめた。これを受け、

11月21日に保護者向け検討状況報告会を行った。

また、中間報告時点での決定事項や方向性をまとめている。学校名は竹野学園とすること、義務教育学校とすること。校歌は、現竹野中学校の校歌を受け継ぐ。校章は子どもから募集し、資料のマークが最終候補に選ばれている。原案について、委員の多数の票が集まり、現在専門事業者にデザインの清書を依頼し、色合いを変更したり、フォントを変えたりして色々なパターンを作っている。最終的に委員の中で決めていただく。

続いて、制服と体操服を載せている。PTAが主体となり、制服が必要か否かの検討から進め、前回の開設準備委員会の中や保護者報告会の中では、生徒会が作った制服のPR動画を流し好評であった。

このようにまとめ、今回条例として12月の議会にあげるよう進めている。

なお、11月21日に開催した保護者向け説明会では、ここに書いている項目のほか、竹野中学校長から学校園の構想についてお話しいただいた。保護者、参加者からは「これまでぼんやりしていた学校のイメージができるようになった」「特色のあるカリキュラムの内容が少しずつ見えてきて、わくわくする報告会でした」と肯定的な意見をいただいた。

(教育長)

この後、学習会があります。この件については、その時に質問をお願いします。

(教育長)

続きまして、学校教育課からの報告に移ります。(1) 生徒指導について、学校教育課長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 生徒指導について

《学校教育課長の説明概要》

生徒指導について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

これで各課からの報告を終了します。

【日程 第7 こども未来部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 こども未来部の報告に移ります。こども支援課 (1) 豊岡市こども支

援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

1 こども支援課

(1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組み状況は、開所日数 22 日で、実通所人数は 24 人、1 日平均 12.4 人である。

10 月の新規通所者は、3 名である。小学校 1 名 中学校 2 名。通所者が増えてきているため、グループ化や、些細なことでトラブルが生じやすい状況がある。見守りと適切な言葉かけにより、対立や誤解が生じないように心掛けている。人数が多くなることについて、集団生活に身を置いている証でもあり、人間関係を学ぶ好機とする意識を持ち関わりたいと考えている。

特別支援の取組み状況は、新規 7 件中、発達検査の希望が 5 名。相談に繋がるきっかけは、1 学期の期末懇談会、夏休みの学習状況、オープンスクールへの参加がある。相談内容として、学習面の課題に加え、本人のこだわりや、集団生活への不適應に関するものがある。その他医療機関からの紹介、保護者からの直接相談等が計 11 件ある。

家庭児童相談の取組状況は、児童虐待通告が 8 件、5 世帯 8 人いた。家庭相談員の対応件数は 875 件である。訪問回数は 86 回である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第 8 委員活動報告】

(教育長)

日程第 8 委員活動報告に移ります。特に伝えたいことがありましたら、お願いします。

(委員)

なし

【日程 第 9 教育委員会活動予定】

(教育長)

日程第 9 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第 9 回教育委員会会議は、12 月 23 日（月）午後 2 時 00 分から、市役所但東庁舎 2 階大会議室で

開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の教育委員会会議は、12月23日（月）午後2時00分から、市役所但東庁舎2階大会議室で開催します。

これをもちまして、第8回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後3時15分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2024年11月28日

教育長

委員